

【プログラム】

1日目 11月11日(月) 講演オーラル会場：8階 中ホール・小ホール、ポスター会場：7階 700号会議室

10:20～10:50 開会の辞／最近の洗浄研究・洗剤技術の動向

洗浄・洗剤部会長（茨城大）木村 美智子 氏

<オリジナルレポート>

10:50～11:10 交番流式洗濯洗浄におけるウルトラファインバブル混合液の洗浄率に対する洗浄時間の効果

（新潟大^{*1}、テックコーポレーション^{*2}、新潟工業短大^{*3}）○牛田晃臣^{*1}、小浦方格^{*1}、
中本義範^{*2}、鳴海敬倫^{*1}、佐藤大祐^{*1}、長谷川富市^{*3}

11:10～11:30 低温環境下におけるウルトラファインバブルの保存性及び洗浄効果の検討

（新潟大^{*1}、イワセ^{*2}、フューテック^{*3}）○小林高季^{*1}、牛田晃臣^{*1}、
小浦方格^{*1}、瀬戸光一^{*2}、樋渡忠^{*3}、佐藤大祐^{*1}、鳴海敬倫^{*1}

—昼食 & ポスターセッション 1時間40分—

討論目安時間 12:15～13:05

<特集 泡による洗浄メカニズムと応用展開>

13:10～13:15 特集にあたって

洗浄・洗剤部会長（茨城大）木村 美智子 氏

13:15～14:35 ファインバブルを用いた壁面付着物の洗浄

（慶應義塾大）寺坂 宏一 氏

マイクロバブルやウルトラファインバブルの基礎、発生原理、特徴的な物性や挙動を紹介するとともに、固体壁面の洗浄への応用例や洗浄メカニズムの仮説、さらに他の分野への応用例も含めて解説する。

14:35～15:25 マイクロバブルオゾン殺菌技術のカット野菜洗浄への応用

（ライオンハイジーン）渡部 慎一 氏

高い殺菌効果を有するオゾンガスを界面活性物質でマイクロバブル化して利用するカット野菜の殺菌システムを開発。多段階殺菌との併用により塩素殺菌より高い品質を有するカット野菜の製造を実現したので紹介する。

—休憩 & フロアディスカッション10分—

15:35～16:25 ウルトラファインバブル洗浄を搭載した洗濯機の開発

（東芝ライフスタイル）内山 具典 氏

洗濯機購入時の重視点は「洗浄力」で、洗浄力強化と省エネの両立のため、水質改良と洗剤の作用を高められる機能水となるウルトラファインバブル水に着目し、洗浄・すすぎ・仕上りの向上効果を業界で初めて見出したので紹介する。

16:25～17:15 ファインバブルと衣類の洗浄

（共立女子短大）山口 庸子 氏

ファインバブル（FB）の衣類洗浄に関わる性能や洗浄効果について、測定方法を含めて紹介する。さらに、オゾンFB水のオゾン濃度や界面活性剤の併用効果、汚れ除去効果からFB水の衣類洗浄への応用を検討したので、併せて報告する。

17:15～18:25 ポスターセッション

18:30～ 懇親会

2日目 11月12日(火) 講演オーラル会場：8階 中ホール・小ホール、ポスター会場：7階 700号会議室

＜一般講演＞

9:30～10:00 CESIO 2019 参加報告

(横浜国大) 大矢 勝 氏

＜オリジナルレポート＞

10:00～10:20 ナチュラルクリーニングの分類体系と情報学的及び実験的検証

(横浜国大^{*1}、長崎大^{*2}、神戸松蔭女子大^{*3}) ○大矢勝^{*1}、駒津順子^{*1,2}、坂本ゆか^{*1,3}、築澤徹^{*1}、中村竜也^{*1}

10:20～10:40 確率密度関数法による洗浄における相乗作用の判定

(横浜国大) ○谷口庸介、大矢勝

10:40～11:00 基質上でのアルブミンとビスシコニン酸ナトリウムの反応性

(実践女子大^{*1}、東京学芸大^{*2}、お茶の水女子大^{*3}、北海道拓北養護学校^{*4})

○塚崎舞^{*1}、森田みゆき^{*2}、船澤千穂^{*2}、雨宮敏子^{*3}、松田美帆^{*4}

－休憩 & フロアディスカッション 10分－

11:10～11:30 アミドアミノオキシド型界面活性剤の増粘挙動に対するプロトン化の効果

(2) 電解質水溶液の場合

(大阪技術研) ○懸橋理枝、東海直治、中川充

11:30～11:50 クリームクレンジング製剤の内部構造と反転現象について

(ポーラ化成工業) 松尾一貴

－昼食 & ポスターセッション 1時間 30分－ 討論目安時間 12:35～13:15

＜一般講演＞

13:20～14:10 海洋プラスチック汚染研究の現状と今後

(九州大) 磯辺 篤彦 氏

海洋プラスチック汚染について概説するとともに、これまでの海洋マイクロプラスチックのモニタリングとモデリング研究によって、明らかになりつつある浮遊量の現状と将来の予測、そして今後乗り越えるべき研究課題について解説します。

－休憩 & フロアディスカッション 10分－

14:20～15:10 皮膚洗浄料における泡の新しい機能

(花王) 日下 梓 氏

皮膚洗浄料の泡は情緒価値をもたらす一方、その科学的側面は長らく注目されてきませんでした。最近になって明らかとなった、泡の油との相互作用と、肌へのマイルド性向上について紹介します。

－休憩 & フロアディスカッション 10分－

＜オリジナルレポート＞

15:20～15:40 部屋干し時のタオルのニオイと菌・汚れの関係について

(ライオン) ○伏谷将典、佐藤準也、森圭輔、小倉弘嗣、河野洋一郎、増井宏之

15:40～16:00 分岐鎖非イオン界面活性剤の特徴と各種洗浄業界における応用

(BASF Advanced Chemicals^{*1}、BASF ジャパン^{*2}) ○宮本洋輔^{*1}、大浦北斗^{*2}

16:00～16:20 硬質表面の親水化効果と洗浄への応用

(クラリアントジャパン) ○堀内武士、榎本浩二

16:20～16:25 閉会の辞

(大阪技術研) 懸橋 理枝 氏

<ポスターセッション> 会場：7階 700号会議室

討論目安時間 11月11日(月) 12:15~13:05, 17:15~18:25 11月12日(火) 12:25~13:15

1. ファインバブル水を用いたペルオキシダーゼによる退色反応
(東京学芸大^{*1}、お茶の水女子大^{*2}、共立女子短大^{*3}) ○森田みゆき^{*1}、伊村くらら^{*2}、山口庸子^{*3}
2. オレイン酸汚れに対するファインバブル水の洗浄効果 (茨城大) 木村美智子
3. 電解水を用いた有機物分解に対するウルトラファインバブル混合の効果
(新潟大^{*1}、テックコーポレーション^{*2}、新潟工業短大^{*3}) ○牛田晃臣^{*1}、藤村優汰^{*1}、
中本義範^{*2}、鳴海敬倫^{*1}、佐藤大祐^{*1}、長谷川富市^{*3}
4. ウルトラファインバブル水の染色への利用とその効果 (岩手大) 天木桂子
5. 起泡特性および界面活性特性が泡沫触感に及ぼす影響 (横浜国大) ○細井翔、大矢勝
6. 分光学的手法を用いたアルカリ電解水の洗浄性に関する研究
(東京家政大^{*1}、東工大^{*2}) ○大橋貴子^{*1}、藤原瑛右^{*2}、安藤慎治^{*2}、
江上巴絵^{*1}、松村美優^{*1}、井坂歩美^{*1}、葛原亜起夫^{*1}
7. 血液タンパク汚れの変性による洗浄性低下と酵素処理効果の確率密度関数法による数量化
(横浜国大^{*1}、君津中央病院^{*2}) ○藤村直瑛^{*1}、宮本かれん^{*1}、大矢美安子^{*2}、大矢勝^{*1}
8. 消臭・防臭性能を高めた衣料用柔軟仕上げ剤の開発
(ライオン) ○森田耕平、石黒菜々子、桶田翔太、天谷友彦、増井宏之
9. 体臭成分の繊維への吸着に及ぼすカチオン界面活性剤および汚れの影響
(文化学園大) ○山岸理恵子、米山雄二
10. 洗濯機フィルターが海洋汚染マイクロファイバーの流出を抑制する効果
(共立女子大) ○秋田陽子、後藤純子
11. 食器洗いの生活者実態と酵素活用による負荷低減効果の検証
(ライオン) ○森山洋匡、永盛明日香、小田村慈英、大野龍、鈴木彩子
12. Our journey towards Sustainable palm (BASF ジャパン) ○Yungi Lee、Koffi Alphonse Taki
13. 硬質表面親水化ポリマー Aristocare Smart (クラリアントジャパン) ○堀内武士、榎本浩二
14. ノボザイムズの最新の洗剤用酵素 -酵素のマルチ化がもたらす効果-
(ノボザイムズ ジャパン) ○鈴木陽一、宇山直人、大門浩作、宮下陽、佐野弘和
15. EcoSense™ NS; 洗浄力・低起泡力・破泡力に優れた易生分解性界面活性剤
(ダウ・ケミカル日本) 古谷昌樹
16. QCM-D 装置による洗浄力評価 (アルテック) 大石善教、松浦良典
17. 流動電位法を用いた固体表面のゼータ電位計 SurPASS™3 による繊維表面の評価手法
(アントンパール・ジャパン^{*1}、文化学園大^{*2}) 中野祐樹^{*1}、山縣義文^{*1}、米山雄二^{*2}

第 51 回洗浄に関するシンポジウム申込書

日本油化学会 洗浄・洗剤部会 事務局 ライオン(株) ファブリックケア研究所 天谷 友彦 行

第 51 回洗浄に関するシンポジウム予約申込書		受付番号 (学会記入欄)	
ふりがな 氏 名		会員番号	所属学会
勤務先名			
勤務先 または連絡先	〒	TEL	
	e-mail	FAX	
参加費 該当に○	洗浄・洗剤部会員 9,000 円、本会正会員 10,000 円	合計 _____ 円	
	本会法人会員 12,000 円、協賛学会員 12,000 円		
Co-メンバー * 12,000 円、会員外 15,000 円			
学生 5,000 円			
懇親会	出席する(一般 5,000 円、学生 1,000 円)、欠席する		

* Co-メンバー登録費用(1,000 円)を含む